

連絡会庶務メモ

昭和52年

- 7月20日 阿蘇山中岳第1火口小爆発 軽傷3名
- 7月26日 国土地理院へ測量成果の複製承認申請(会報第10号用)。8月3日承認。
- 7月31日 連絡会会報第10号編集終了。
- 8月6日 有珠山で有感地震群発、室蘭地方気象台臨時火山情報発表
- 8月7日 9時12分有珠山噴火、以後14日まで噴火断続
- 8月8日 緊急幹事会(噴火の現状と観測体制について) 13:35~15:45 場所:気象庁
有珠山の噴火について統一見解発表
気象庁機動観測班有珠山へ出発
- 8月13日 火山噴火予知連絡会有珠山総合観測班発足し、現地(事務局:有珠郡壮瞥町役場内)
で第1回会合を開催し、有珠山の噴火について統一見解を発表した。
- 8月15日 佐藤委員から有珠山噴火関係の測地測量計画(国土地理院)について連絡あり
- 8月17日 札幌管区気象台、昭和52年防災業務実施状況報告第1号(1977年有珠山噴火に関
する火山速報)発刊
- 8月18日 札幌管区気象台観測課清野政明主任技術専門官を火山噴火予知連絡会有珠山総合観測
班臨時委員に推薦
- 8月20日 有珠山総合観測班、有珠山の噴火について統一見解発表
火山噴火予知連絡会長から国土地理院長あて「有珠山噴火に伴う観測強化のための協
力について(依頼)」文書発送
- 8月23日 北海道大学理学部地質学鉱物学教室勝井義雄教授と東北大学理学部青葉山地震観測所
長谷川昭助教授を火山噴火予知連絡会有珠山総合観測班臨時委員に依頼(文書)
- 8月25日 緊急幹事会(現地状況報告と今後の観測体制等について) 10:00-12:00
場所:気象庁
- 9月1日 委員異動:科技庁生活科学技術課長久武啓祐氏から清水真金氏
- 9月7日 国土地理院による有珠山頂航測図化地図(8月23日実施)が有珠山総合観測班に届
けられる。
- 9月8日 有珠山総合観測班、有珠山の火山活動について統一見解発表
- 9月13日 第11回連絡会開催について永田会長に伺い
- 9月20日 委員(臨時委員を含む)並びに神沼幹事あて第11回連絡会開催通知を郵送
連絡会会報第10号発刊
- 9月29日 下鶴委員から第11回連絡会において有珠山の活動報告は、総合観測班で資料を作り
発表者は1人にしぼりたい旨連絡あり
- 10月11日 第11回火山噴火予知連絡会開催(13:30~17:00)
場所 気象庁第1会議室

- 議題
1. 第10回連絡会議事録(案)並びに緊急幹事会(52.8.25開催)議事録(案)の承認
 2. 最近の火山活動(報告及び検討)
 - ア)有珠山 イ)桜島 ウ)阿蘇山 エ)吾妻山 オ)その他
 3. 総合観測班について
 4. 連絡会庶務報告
 5. 協議事項
 - ア) 次回連絡会開催日
 - イ) 有珠山の今後の観測体制
- 10月19日 委員(勝井・長谷川・清野臨時委員を含む)、神沼幹事あてに①第11回連絡会議事録(案) ②連絡会会報第11号目次(案) ③全国火山活動概況第10号を郵送
- 10月26日 吾妻山一切経山八幡焼火口で土砂噴出
- 10月27日 吾妻山の活動について地震課長から永田会長に報告、又高木委員にも地震課長から連絡した。
- 11月8～11日 気象庁機動観測班、吾妻山現地観測実施
- 11月21日 連絡会報第11号原稿執筆依頼郵送
- 12月7日 09:30～17:00 火山噴火予知研究シンポジウム開催、場所:日本学術会議大会議室
- 12月17日 札幌管区気象台、昭和52年防災業務実施状況報告第2号(1977年有珠山噴火に関する火山速報第2号)発刊
- 12月22日 加茂委員から「第2回桜島火山の集中総合観測」30部寄贈